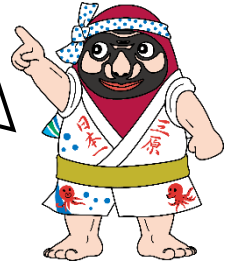


事業名：中央公民館管理運営事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をしていますか？

市民が生涯にわたって、学習できる場と機会を提供するため、学習相談や施設の利用受付を行い、安全に利用できる施設として、維持管理しています。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

利用予約の受付に係る人件費や、講堂や教室を快適に利用できるようにするための維持管理費、講座を受講したいと思ったときに、受けたい講座がいつどの施設でおこなわれているかなど学習相談に応じてくれる相談員への報酬などに税金が使われています。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

中央公民館を安全に利用できるよう維持及び管理運営することにより、市民がいつでも自由に選択して学習できる場と機会を得ることができます。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

この仕事は、中央公民館が開館した昭和57年から始まり、今年まで39年間継続して実施しています。鉄筋コンクリート造の中央公民館の使用年数は約50年間ですが、建物や設備の修理や更新を計画的に行うことで65年間を使用年数の目標とするよう見直しを行ないました。



事業シート（概要説明書）

予算事業名	中央公民館管理運営事業				事業開始年度	昭和57年												
上位施策事業名	2-2-1 生涯学習の振興				担当局・部名	教育部												
根拠法令等	社会教育法, 三原市公民館設置及び管理条例				担当課・係名	生涯学習課学習施設係												
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				作成責任者	山崎雅樹												
実施の背景	住民の教養の向上, 健康の増進を図り, 生活文化の振興, 社会福祉の増進を図るため, 实际生活に即する教育, 学術及び文化に関する各種の事業を行う施設として設置。現在は, 主に三原地域の生涯学習施設の拠点として, 生涯学習の入口である市主催講座を開催し, 貸館を利用して生涯スポーツ, 芸術・文化, 語学などを自主的に学ぶ多くのグループが活動している。施設全体の利用率が高く, 施設の維持管理・適正な運営が求められている。																	
目的 (何をどうしたいのか)	■利用者が安全に利用できる施設として, 適正に管理運営することにより, 中央公民館において, 市民が生涯にわたって, いつでも, 誰でも自ら学ぶことのできる生涯学習の場と学習の機会を安定して提供する。																	
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民				対象者数 (全住民に対する割合)												
						91,317	人	(100 %)										
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: (公社)シルバー人材センター) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: _____ 実施主体: _____) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)																
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標												
	■貸館事業 社会教育関係団体・社会福祉関係団体・公共的団体主催の講座・研修会・講演会・発表会・会議, 民間団体の会議・研修会, 行政主催の会議・説明会・イベントなどの利用を受け付けている。施設利用申請等の受付業務は公益社団三原市シルバー人材センターに委託。		7,291	千円	貸館利用件数													
	■生涯学習相談 生涯学習相談員を配置し, 市民の生涯学習に関する相談に対応。 <small>(主催講座, 自主グループ活動に関する相談・紹介, 主催講座企画運営等)</small>		3,857	千円	生涯学習相談件数													
	■施設維持管理業務 施設管理業務を公益社団三原市シルバー人材センターに, 清掃業務, 空調設備保守管理業務, 受水槽・高架水槽清掃業務及び建築物環境衛生管理業務を株式会社サービスセンターに, エレベータ保守管理業務を株式会社日立ビルシステム中国支店に委託するなど, 適正な施設の維持管理を実施。		8,327	千円	貸館利用件数													
関連事業 (同一目的事業等)	人権文化センターにおける教養・文化事業																	
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算見込み)		H31年度 (決算)		H30年度 (決算)											
	事業費合計		189,297	千円	25,627	千円	28,349	千円	25,970	千円								
	事業費内訳 (令和2年度分)		報酬等: 3,857千円 (生涯学習相談員報酬・期末手当) 委託料: 14,958千円 光熱水費: 4,298千円 (電気使用料2,182千円, 暖房用燃料費1,643千円, 上下水道使用料438千円, ガス使用料34千円) 修繕料: 578千円 (修繕内容: 空調設備, 給排水管等修繕) その他経費: 1,936千円 (審議会委員報酬, 旅費, 消耗品費, 電話料, 設備検査・点検・ごみ処理・ピアノ調律手数料, テレビ受信料, インターネット使用料, 複写機借上料, 備品費, 負担金)															
	人件費	担当正職員	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円
		臨時職員等	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円	0.5	人	3,120	千円	
	総事業費	192,417	千円	28,747	千円	31,469	千円	29,090	千円									
財源 内訳	国県支出金		149,785	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
	国県支出金の内容		地方創生臨時交付金															
	地方債		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
	その他特財		840	千円	783	千円	843	千円	858	千円								
	その他特財の内容		施設使用料金収入, 大講堂照明電気使用料, 自動販売機電気使用料, 公衆電話取扱手数料, 資料等コピー代収入															
	一般財源	41,792	千円	27,964	千円	30,626	千円	28,232	千円									
	財源合計	192,417	千円	28,747	千円	31,469	千円	29,090	千円									

事業シート（概要説明書）

予算事業名		中央公民館管理運営事業			事業開始年度		昭和57年	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	R2年度	H31年度	H30年度
		貸館利用件数			件	4,232/5,700	5,666/6,000	5,656/6,200
		生涯学習相談件数			件	725/1,000	1,077/1,100	1,102/1,100
						/	/	/
					/	/	/	
単位当たりコスト	中央公民館の管理運営にかかる総事業費	/	中央公民館貸館利用件数	円	6,793	5,554	5,143	
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	中央公民館施設維持管理を計画的に行うことで、どれだけ市民が「いつでも、どこでも、だれでも」自発的に学べ、その成果を活かせる生涯学習環境づくりにつながっているかを測るため、市民が感じる満足度及び施設の貸館利用者数を指標に設定。						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	R2年度	H31年度	H30年度
		市民が生涯学習に取り組む機会と場があると感じる市民の割合			%	75(目標値, 調査未実施)	(調査未実施)	75(実績値)
		貸館利用者数			人	74,522/115,000	106,491/117,000	108,369/110,000
				/	/	/		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習事業は、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができることを推進しており、その場所と機会の提供に努める。 ・中央公民館は利用圏域を市域施設とし、今後も旧三原地域の生涯学習施設をとりまとめる生涯学習拠点として位置づける。 ・長寿命化計画により、維持管理に必要な設備投資を行い、機能・施設を維持し、引き続き生涯学習の場所と機会を提供する。 ・中央公民館は令和29年までの65年間を目標使用年数としており、施設の維持管理に必要な設備投資には多額の費用を要する。 ・公民館の利用の多くが使用料減免対象の施設登録団体であるため、歳入が少なく、維持管理費への補填となっていない。 							
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	尾道市中央公民館（向島公民館） 複合施設・向島支所2階部分延、床面積638.4㎡（大研修室1，研修室5，調理実習室1，和室2） 利用件数 平成31年度 3,946件 令和2年度 2,266件 利用者数 平成31年度 55,342人 令和2年度 20,405人							
特記事項								

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	中央公民館施設維持管理事業		事業開始年度	
団体名	公益社団法人三原市シルバー人材センター			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	地方自治法施行令第167号の2第1項第3号による随意契約 当業務は、高齢者の安定した雇用のため、高齢者生きがい対策事業委託料として予算措置をしており、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第37条第2項に規定するシルバー人材センターに業務委託する。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	配分金	7,000 千円
	県からの財政支出金	千円	事務費	700 千円
	市町村からの財政支出金	千円		千円
	委託料・指定管理料	7,700 千円		千円
	補助金	千円		千円
	その他	千円		千円
	その他 ()	千円		千円
総計	7,700 千円	総計	7,700 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	大工、植木剪定、塗装、一般事務補助、施設管理、草刈、清掃、子育て支援サービス、福祉・家事援助サービス等の提供										
	資本金		0 千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	0 千円	役員		1	1	13	3	2	0	
	出資比率	%	職員		15	5	0	0			
団体全体の収支状況	収入		支出								
	国からの財政支出金	11,700 千円	事業費	40,159 千円							
	県からの財政支出金	1,333 千円	管理費	2,755 千円							
	市町村からの財政支出金	127,634 千円	人件費	326,426 千円							
	委託料・指定管理料	116,596 千円	その他 ()	0 千円							
	補助金	11,038 千円	総計	369,340 千円							
	その他	0 千円									
その他 (受託収益、会費、利息、保険金)	219,892 千円										
総計	360,559 千円	収支差	△ 8,781 千円								
特記事項	負債総額:28,461,043円 資本総額:104,517,801円 利益剰余金(もしくは欠損金):76,056,758円										
財務諸表URL	https://webc.sjc.ne.jp/mihara/information_4										

委託先シート				令和3年度
委託内容	委託先	委託金額		事業者選定方法
中央公民館管理業務	公益社団法人三原市シルバー人材センター	7,700	千円	随意契約
中央公民館清掃業務	株式会社サービスセンター	3,828	千円	入札
中央公民館空調設備保守管理業務	株式会社サービスセンター	1,491	千円	随意契約
中央公民館エレベーター保守管理業務	株式会社日立ビルシステム 中国支店	900	千円	随意契約
中央公民館受水槽・高架水槽清掃業務	株式会社サービスセンター	176	千円	随意契約
中央公民館建築物環境衛生管理業務	株式会社サービスセンター	461	千円	入札
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	

施設シート										令和3年度		
番号	④		名称	三原市中央公民館						<input checked="" type="checkbox"/> 単独館 <input type="checkbox"/> 複合館		
所在地	三原市円一町二丁目3番1号											
根拠条例等	三原市公民館設置及び管理条例											
土地情報	所有面積	3537.37 m ²		地目	宅地		所管課	生涯学習課				
	借地面積	0 m ²		借地元	-		作成責任者	山崎雅樹				
	総面積	3537.37 m ²		借地料	- 千円/年		財産区分	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 普通				
建物情報	延べ床面積	3323.07 m ²		所有区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 借用		構造	鉄筋コンクリート造				
	建設・取得	昭和57年3月(建設)			設計者	岡田 新一		IS値				
	補助金有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						階数	3階			
	借用元	-						借用金額	- 千円/年			
	建設・取得額	720,500 千円			取得経緯							
	地方債残高	<input type="checkbox"/> 有 (残高 円) 償還 (年/ 年) <input checked="" type="checkbox"/> 無										
	改修等	改修時期・内容・金額	<input type="checkbox"/> 耐震 <input type="checkbox"/> 大規模改修 <input type="checkbox"/> バリアフリー化 <input checked="" type="checkbox"/> 省エネ対応									
			平成31年度 大講堂照明LED化工事 2,688千円									
	設置目的	住民の教養の向上, 健康の増進及び情操の純化を図り, 生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。										
	実施事業	主催講座の実施, 生涯学習相談, 自主学習グループの育成支援, 貸館事業 (貸館利用内容: 社会教育団体・社会福祉関係団体・公共的団体主催の講座・研修会・講演会・発表会・会議, 民間団体の会議・研修会, 行政主催の会議・説明会・イベント等)										
主な利用者 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 官公庁利用 <input checked="" type="checkbox"/> 主催事業 <input checked="" type="checkbox"/> 登録団体 (団体数: 219団体) <input type="checkbox"/> 市内一般企業、団体 <input type="checkbox"/> 市外一般企業、団体 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市外住民 <input type="checkbox"/> その他 ()											
利用の制限	商行為, 寄付の募集, 宣伝行為, 広告物の掲示・配布, 看板立札類の設置											
開館日数	357 日/年		休館日	12月28日~1月4日								
開館時間	9時~21時											
管理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 直接管理 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 住民等の自主管理 (委託先又は指定管理者: 公益社団法人三原市シルバー人材センター)											
	(委託内容・金額・事業者選定方法: 貸館に関する業務 令和3年度契約額 7,700,924円 随意契約(高齢者生きがい対策事業))											
施設の概要	名称	大講堂			名称	第1研修室			名称	第2研修室		
	床面積	889 m ²	部屋数	1	床面積	91 m ²	部屋数	1	床面積	43 m ²	部屋数	1
	名称	中講堂			名称	第1講座室			名称	第2・3講座室		
	床面積	224 m ²	部屋数	1	床面積	87 m ²	部屋数	1	床面積	89 m ²	部屋数	1
	名称	資料室			名称	調理・染色工芸室			名称	美術工芸室		
	床面積	67 m ²	部屋数	1	床面積	89 m ²	部屋数	1	床面積	109 m ²	部屋数	1
	名称	和室			名称	幼児室			名称			
	床面積	67 m ²	部屋数	1	床面積	26 m ²	部屋数	1	床面積	m ²	部屋数	
ハード(施設維持管理) ソフト(実施事業) にかかる人員		正規職員	嘱託職員等	委託業者	指定管理者	住民等の自主管理	その他	合計				
	ハード	0.5 人	人	人	人	人	人	人				
	ソフト	0.5 人	1.2 人	2.0 人	人	人	人	人				
	合計	1.0 人	1.2 人	2.0 人	0.0 人	0.0 人	0.0 人	0.0 人				

		R3年度（予算）	R2年度（決算見込）	H31年度（決算）	H30年度（決算）				
維持管理費		総支出	189,297 千円	25,627 千円	28,349 千円	25,970 千円			
財源内訳	収入	収入合計	150,625 千円	783 千円	843 千円	858 千円			
		使用料・手数料	248 千円	322 千円	249 千円	98 千円			
		国県補助金	149,785 千円	千円	千円	千円			
		その他（ ）	592 千円	461 千円	594 千円	760 千円			
		一般財源	38,672 千円	24,844 千円	27,506 千円	25,112 千円			
支出内訳（R2年度分）									
報酬等： 3,857千円 （生涯学習相談員報酬・期末手当） 委託料： 14,958千円 光熱水費： 4,298千円 （電気使用料 2,182千円、暖房用燃料費 1,644千円、上下水道使用料 438千円、ガス使用料 34千円）		修繕料： 578千円 （修繕内容：空調設備、給排水管等修繕） その他経費：1,936千円 （審議会委員報酬、旅費、消耗品費、電話料、設備検査・点検・ごみ処理・ピアノ調律手数料、テレビ受信料、インターネット使用料、複写機借上料、備品費、負担金）							
利用状況	各部屋別稼働率	名称	大講堂		平日	80.0 %	土日祝	68.6 %	
		午前	62.7 %	午後	80.1 %	夜間	87.4 %	合計	76.8 %
		名称	中講堂		平日	30.7 %	土日祝	41.8 %	
		午前	38.4 %	午後	40.6 %	夜間	22.7 %	合計	33.9 %
		名称	第1研修室		平日	60.3 %	土日祝	48.7 %	
		午前	50.4 %	午後	63.0 %	夜間	57.4 %	合計	57.0 %
		名称	第1講座室		平日	51.0 %	土日祝	30.7 %	
		午前	37.3 %	午後	55.5 %	夜間	42.9 %	合計	45.2 %
自己評価・特記事項等		<ul style="list-style-type: none"> ・大講堂は利用が多いため、3面に分けて提供している。 ・令和2年度では、178の自主グループが生涯スポーツ、芸術・文化、語学などの学習活動の場として利用。 ・自主グループによる利用が活発。 ・自主グループの利用登録基準を会員10人以上の団体とし、個人や少人数利用を制限することで、利用申込の重複の発生を抑え、概ね希望する日時での利用ができています。 							

中央公民館管理運営事業 補足資料（生涯学習課）

○中央公民館の利用状況について

団体種類		主な利用内容	利用割合
①	行政	会議・説明会・講座・講演会・イベント等	約25%
②	社会教育団体（自主グループ）・社会福祉関係団体・公共的団体	講座・研修会・講演会・発表会・会議	約75%
③	学校、幼稚園、保育所	学校行事	1%未満
④	民間団体	会議・研修会	1%未満

○中央公民館登録団体数（会員数）について

団体種別		H31	R2	R3
登録団体		208	216	219
うち自主グループ		173	178	180
活動分野	生涯スポーツ活動	36	36	40
	芸術・文化活動	32	31	33
	趣味・教養学習	59	60	59
	語学	4	5	8
	郷土学習	3	4	5
	ボランティア活動	5	6	5
	環境学習	3	3	2
	健康促進活動	12	14	10
	人権尊重学習	2	2	1
	学習会・研修会	17	17	17

○使用料減免に関する基準について

三原市公民館設置及び管理条例施行規則	三原市の生涯学習施設の使用料減免に関する運用基準		減免割合
第8条第1項 市又は市の機関が利用するときは、使用料を免除することができる。			10割
第8条第2項 教育長は、前項に掲げるもののほか、特別の理由があるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。	1	市内の社会福祉関係団体が社会福祉向上の目的のために利用するとき	10割
	2	市内の国公立の幼（認定子ども園を含む）、小、中、高、大等が教育活動の目的のために利用するとき	10割
	3	市内に所在する社会教育関係団体が自主的かつ継続的な学習活動のために施設利用団体登録の承認を受けて登録された施設で利用するとき	10割
	4	市内の公共的団体が地域振興及び教育振興のために必要な事業で利用するとき	10割
	5	市内私立の幼（認定子ども園を含む）、小、中、高が教育活動の目的のために利用するとき	5割
	6	市内私立の保育所（園）が保育活動の目的のために利用するとき	5割
	7	市外の私立、国公立の小、中、高、大が校長名で申請し、児童・生徒を対象とした教育活動のために利用するとき	5割

